

めあて 表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読もう。

3 線②とありますが、「僕」が知っているのはどのようなどですか。二十字以内で書きなさい。

一 次の文章を読んで、あの問題に答えなさい。

「ではみなさん、そういうふうに川だと言われたり、乳の流れたあとだと言われたりして、いたこのぼんやりと白いものがぼんどうは何かご承知ですか。」先生は、黒板に吊した大きな黒い星座の因の、上から下へ白くけぶつた銀河帶のようなどころを指しながら、みんなに問い合わせかけました。カムバネルラが手をあげました。それから四、五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようとして、急いでそのままやめました。たしかにあれがみんな星だと、いつか雑誌で読んだのでしたが、このごろはジョバンニまるで毎日教室でもねむく、本を読むひまも読む本もないのだ、なんだからどんなどともよくわからないという気持ちがするのでした。

ところが先生は早くもそれを見付けたのでした。

「ジョバンニさん。あなたはわかつているのでしょうか。」

ジョバンニは勢いよく立ちあがりましたが、立ってみるとさうっとそれを答えることができませんでした。ヨバンニはもうどきまきして真っ赤になってしまいました。先生がまた言いました。

「大きな望遠鏡で銀河をよく調べると銀河は大体何でしよう。」

やつぱり星だとジョバンニは思いましたが、こんどもすぐに答えることができませんでした。

先生はしばらく困ったようすが、眼をカムバネルラの方へ向けて、「ではカムバネルラさん」と名指しました。するとあんなに元気に手をあげたカムバネルラが、やはりもじもじ立ち上がったままやはり答えができませんでした。

先生は意外なようにしばらくじっとカムバネルラを見ていましたが、急いで「では。よし。」と言いました。そこには、さうして、眼をカムバネルラの方へ向けて、「ではカムバネルラさん」と名指しました。けれどもいつかジョバンニの眼のなかには涙がいっぱいになりました。そうした僕は知っていたのだ、勿論カムバネルラも知っている、それはいつか力がほしいになりました。その父はお父さんの博士のうちでカムバネルラといっしょに読んだ雑誌のなかにあったのだ。それどこでなくカムバネルラは、その雑誌を読むと、すぐお父さんの書斎から巨きな本をもってきて、きんぐがとうのところをひろげ、真っ黒なページいっぱいに黒い点々のある美しい写真を二人でつまでも見たのです。それをカムバネルラが、朝にも午後にも仕事をつらく、学校に出てももうみんなときはき遊ばず、カムバネルラともみりものを言わないようになつたので、カムバネルラがそれを知つて、生きる力強いくらいになります。そして明るく楽しい学校を目指します。

（注1）けぶつたは、ぼうっとかすんで見える。

（注2）それどこでなくリそれどころではなく。

【銀河鉄道の夜】宮沢賢治 より

1 次のAからDまでを、文章の展開に沿って順番に並べ替えるとどのようになりますか。

AからDを適切に並べ替え、記号を書きなさい。

- A 先生が星図を指着しながら自分で答えを述べた。  
B 先生が黒板に吊した星座の図の「ぼんやりと白いもの」を指して何かと尋ねた。  
C 先生がカムバネルラを指名したが、カムバネルラは答えられなかった。  
D 先生がジョバンニを指名したが、ジョバンニは答えられなかった。



2 線①とあります、「この理由と考え方のどちらの」「この理由と考え方の」という二つのジョバンニの生活の様子が書かれた部分を本文中から十三字で探し、抜き出しなさい。

※次のページにも問題があります。

めあて 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考え方や表現に生かそう。

4 カムバネルラは、先生の質問に答えませんでした。その理由についてジョバンニは、次の□に考えました。次の□に当てはまる言葉を本文中から六字で探し、抜き出しなさい。

カムバネルラが先生の質問に答えなかつたのは、僕のことをいるからだ。

4 線②とあります、「僕」が知っているのはどのようなどですか。二十字以内で書きなさい。

5 線③とあります、「この理由と考え方の」「この理由と考え方の」という二つの青山さんの表現の仕方とエイウエイアの表現の仕方に、どちらがよく似ていますか。

青山さんの【演説の一部】

私は、野球部の部長をしています。試合に勝つためにはチームワークが必要です。試合に勝つためにはいろいろな考え方の人

がいます。意見が食い違ったときは大変です。でも私はそれを乗り越えてきました。

それは部活動でも生徒会活動でも同じです。生徒会長に当選すれば、みんなをまとめる力強くなります。そして明るく楽しい学校を目指します。

小川さんの【演説の一部】

私は、新しい生徒会活動の在り方を考えるに勝つためには、様々な活動を、

しかし、部の中にはいろいろな考え方の人

がいます。意見が食い違ったときは大変です。でも私はそれを乗り越えてきました。

それは部活動でも生徒会活動でも同じです。生徒会長に当選すれば、みんなをまとめる力強くなります。そして明るく楽しい学校を目指します。

今までの生徒会活動では、様々な活動を、

私は、新しく生徒会活動の在り方を考える時期に来て、いると思います。「委員会に入っています。でも私はそれを乗り越えてきました。

それは部活動でも生徒会活動でも同じです。生徒会長に当選すれば、みんなをまとめる力強くなります。そして明るく楽しい学校を目指します。

青山さんと小川さんの【演説の一部】を聞き比べると、二人の表現の仕方にはそれぞれ特徴があることが分かります。青山さんと小川さんの表現の仕方として、最も適切なものを、次

アからエまでの中から、それぞれ選びなさい。

竹田さんの【考え方】

自分の実績を詳しく説明するために、様々なかたとえを用いています。聞き手の興味や関心を引き付けるために、質問を交えている。

エイウエイア 演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短くしている。

青山さんは、二人の演説を聞いて、次のような【考え方】をもちました。竹田さんが重視して聞いたと考えられるものとして、最も適切なものを、次のアからエまでの中から、一つ選び相手に納得してもらえるよう、他の人の考え方を取り入れている。

小川さん 青山さん

5 線④とあります、「この理由と考え方の」「この理由と考え方の」という二つの竹田さんの表現の仕方とエイウエイアの表現の仕方に、どちらがよく似ていますか。

ア 生徒会活動の在り方に対する考え方  
イ 演説の内容を通して感じられる人柄  
ウ 聞く人に訴えかけるような言葉づかい

■正答

- 1 B → D → C → A (完全解答)  
2 朝にも午後にも仕事がつづく  
3 (例1) ほんやりと白いものが、星であること。(十六字)  
(例2) 白い銀河がたくさんのかな星であること。(二十字)  
4 気の毒がって

- 二 1 青山さん ウ 小川さん ハ  
2 ア

■考え方

- 1 「A 星図を指す」「B 星座の図」「C カムパネルラを指名」「D ジョバンニを指名」などの語葉に着目します。  
2 ジョバンニが「この「うねぼくが」と考へて、「る」とに着目します。  
3 腹頭の先生の質問「このほんやりと白いものがほんとうは何か」という質問に対する、ジョバンニは「みんな星だと、いつか雑誌で読んだ」や「やいぱり星だ」と思つていて、「うねぼくが」とに着目します。  
4 ジョバンニが、「カムパネルラが忘れるはずもなかつたのに」と考へて、「うねぼくが」とに着目します。

取り組んでみよー

■次の文の（　　）に当たる助詞を、【　】内の指示に従って書きましょう。

- 1 あなたに話しておく。→あなたに（　　）話しておく。  
〔〔〕〕  
2 竹田さんは、力強いリーダーの必要性を訴える青山さんの演説の内容に一定の理解を示しているものの、新しい生徒会活動の在り方にについて述べた小川さんの演説に共感している」とに着目します。  
〔〔〕〕

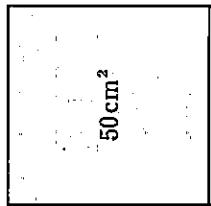
答え 2 (セシ) シヨー

## 令和元年度ほっかいどうチャレンジテスト 1学期期末問題(第2回)

15問中

\*先生方へ~解る解の図~は、問題結果登録の教員番号に付随しています。

- 1** 面積が $50\text{cm}^2$ の正方形の1辺を $x\text{cm}$ とすると、 $x$ は正の数で $x^2=50$ という式が成り立つ。  
 $x$ はどんな値になるか考えるととき、下の□に当てはまる数を書きなさい。



$7^2 = \boxed{①}$ 、 $7 \cdot 1^2 = 50$ 、 $4 \cdot 1$ だから、  
 $7.0 < x < 7.1$ 。  
したがって、 $x$ の値の小数第1位は $\boxed{②}$ である。  
さらに、  
 $7.07^2 = 49.9849$ 、 $7.08^2 = 50.1264$ だから、  
 $7.07 < x < 7.08$ 。  
したがって、 $x$ の値の小数第2位は $\boxed{③}$ である。  
このようにして、 $x$ の値を調べていくと、  
 $x = 7.071067\dots$ 。  
と、どこまでも続く小数になる。  
この数を記号 $\sqrt{x}$ を使って、 $\boxed{④}$ と表すことにし、  
これを「ルート $50$ 」と読む。

- ①  
■ ②  
■ ③  
■ ④  
■ ⑤

(2) 次のアからエまでのなかから、正しい説明をすべて選びなさい。

ア  $\sqrt{6^2} = \pm 6$  である。

イ  $4.9$  の平方根は $\pm 7$  である。

ウ  $\sqrt{25}$  と $5$ は等しい。

エ  $\sqrt{1.6}$  と $0.4$ は等しい。

□ 6

(3) 次のアからエまでのなかから、無理数を選びなさい。

ア  $0.7$  イ  $\sqrt{25}$  ウ  $\sqrt{0.9}$  エ  $\sqrt{\frac{1}{4}}$

□ 7

- 3** 次の式を展開しなさい。

(1)  $(x+1)(y+5)$  (2)  $(x-4)(x+5)$

□ 8

**2** 次の問いに答えなさい。

(1)  $4$  と  $3\sqrt{2}$  の大小を、不等号を使って表しなさい。

□ 9

(1)  $x^2 - 13x - 30$  (2)  $2x^2 + 16x + 32$

□ 10

\*次のページにも、問題があります。

5

$\sqrt{7}$  の小数部分を  $\alpha$  とするとき、次のアからエまでのうちから、 $\alpha$  を表す式として正しいものを選びなさい。

ア  $\sqrt{7} - 1$  イ  $\sqrt{7} + 1$  ウ  $\sqrt{7} - 2$  エ  $\sqrt{7} + 2$

6

縦 3.2m、横 7.2m の長方形の土地と面積が等しい正方形の土地があります。この正方形の土地の 1 辺の長さを求めなさい。

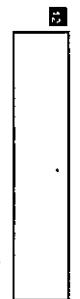


面積が等しい



8

Aさんは、連続する2つの奇数の積に1を加えると、どのような数になるかを予想し、予想が正しいことを次のように説明しました。



< Aさんの説明 >

連続する2つの奇数は、整数  $n$  を使って、  
 $2n-1$ 、 $2n+1$  と表される。このとき、連続する2つの奇数の積に1を加えた数を式で表すと

$$(2n-1)(2n+1) + 1 = 4n^2 - 1 + 1 \\ = 4n^2 \\ = (2n)^2$$

となる。 $n$  は整数であるから、連続する2つの奇数の積に1を加えた数は

図 < Aさんの予想 >

になる。

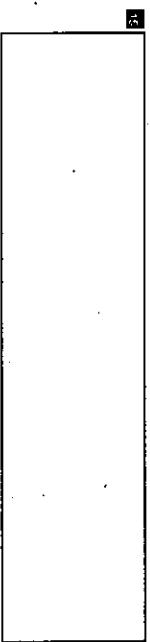
Aさんの説明から、Aさんはどのような数になるかを予想したのかを考え、< Aさんの予想 > に当てはまる言葉を、次のアからエまでのうちから選びなさい。

ア 偶数 イ 偶数の2乗 ウ 奇数の2乗 エ 偶数

Bさんは、連続する2つの整数について、大きい方の数の2乗から小さい方の数の2乗をひいた差は、もとの2つの整数の和になると予想しました。Bさんの予想が正しいことを、下の□に式や言葉を書き、証明を完成させなさい。

< 証明 >

連続する2つの整数は、整数  $n$  を使って、  
 $n$ 、 $n+1$  と表される。このとき、大きい方の数の2乗から小さい方の数の2乗をひくと、



となる。したがって、大きい方の数の2乗から小さい方の数の2乗をひいた数は、もとの2つの整数の和になる。

\* 次のページにも、問題があります。

7

Aさんは、連続する2つの奇数の積に1を加えると、どのような数になるかを予想し、予想が正しいことを次のように説明しました。

連続する2つの奇数は、整数  $n$  を使って、  
 $2n-1$ 、 $2n+1$  と表される。このとき、連続する2つの奇数の積に1を加えた数を式で表すと

$$(2n-1)(2n+1) + 1 = 4n^2 - 1 + 1 \\ = 4n^2 \\ = (2n)^2$$

となる。 $n$  は整数であるから、連続する2つの奇数の積に1を加えた数は

図 < Aさんの予想 >

になる。

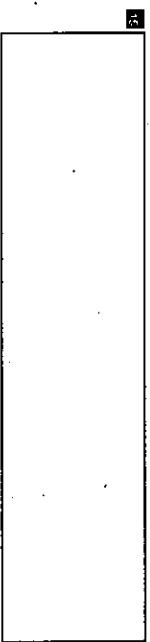
Aさんの説明から、Aさんはどのような数になるかを予想したのかを考え、< Aさんの予想 > に当てはまる言葉を、次のアからエまでのうちから選びなさい。

ア 偶数 イ 偶数の2乗 ウ 奇数の2乗 エ 偶数

Bさんは、連続する2つの整数について、大きい方の数の2乗から小さい方の数の2乗をひいた差は、もとの2つの整数の和になると予想しました。Bさんの予想が正しいことを、下の□に式や言葉を書き、証明を完成させなさい。

< 証明 >

連続する2つの整数は、整数  $n$  を使って、  
 $n$ 、 $n+1$  と表される。このとき、大きい方の数の2乗から小さい方の数の2乗をひくと、



となる。したがって、大きい方の数の2乗から小さい方の数の2乗をひいた数は、もとの2つの整数の和になる。

\* 次のページにも、問題があります。

令和元年度ほっかいどうチャレンジスト 1学期末問題（第2回）  
〔数学〕中3 組番 氏名

先生方へ～解答欄の問題～は、問題結果を録の提出書類に対応しています。

- |   |   |             |  |
|---|---|-------------|--|
| 1 | ① | 49          |  |
| 2 | ② | 0           |  |
| 3 | ③ | 7           |  |
| 4 | ④ | $\sqrt{50}$ |  |

- (1)  5  $4 < 3\sqrt{2}$

(2)  6 ۱، ۴

(3)  7 ۴

$$3 \quad (1) \quad \boxed{xy + 5x + y + 5} \quad (2) \quad \boxed{x^2 + x - 20}$$

$$4(1) \boxed{(x+2)(x-15)} \quad (2) \boxed{2(x+4)^2}$$

【解き方】  
 すべての項に共通する因数を見付ける  

$$= 2(x^2 + 1)$$

$$\begin{aligned} & \frac{(n+1)^2 - n^2}{(n^2 + 2n + 1) - n^2} \\ &= \frac{2n+1}{n+(n+1)} \end{aligned}$$

「もとの 2 つの整数の和」になることを説明するので、最後の試験は「 $2n+1$ 」ではなく、「もとの 2 つの整数」である「 $n$ 」と「 $n+1$ 」を用いた式で表します。

- ٤

[解方]

半方複数の問題を理解し、整数部分を把握して考元ます。

$\sqrt{4} < \sqrt{7} < \sqrt{9}$  から、  
 $2 < \sqrt{7} < 3$  が分かるので、  
 $\sqrt{7}$  の整数部分は 2 で、  
分は  $a = \sqrt{7} - 2$  と表され

48 m

6

[解方]

**【解き方】** 長方形の面積は

$$3^2 \times 7^2 = 4^2 \times 2^2 \times 6^2 = (2 \times 4 \times 6)^2$$

よって、正方形の面積は

因数の順序をいろいろ變えて、結果は同じ因数の積になります。(乗法の交換法則)

14

8

方】留め置かれたその体を理解する

整数部分を把握して考元ます。

$\sqrt{7} < \sqrt{9}$  から、  
 $\sqrt{7} < 3$  が分かるので、  
 の整数部分は 2 で、小数部  
 $a = \sqrt{7} - 2$  と表される。

48 m

6

方】 形の面積は  
 $2 \times 7 = 14$   
 $2^2 \times 2 \times 6^2 \times 2 = 192$   
 $2^2 \times 4^2 \times 6^2 = 384$   
 $2 \times 4 \times 6)^2 = 576$

て、正方形の面積は

Q.2

因数の順序をいろいろ變えても、結果は同じ因數の積になります。（乗法の交換法則）

10

8

「もとの 2 つの整数の和」になることを説明するので、最後の式は「 $2n+1$ 」ではなく、「もとの 2 つの整数」である「 $n$ 」と「 $n+1$ 」を用いた式で表します。





## ■正答

1 イ

その軌道の近くで他の天体をなくしきれなかつた天体であり、衛星でない天体。

2 イ

（例）惑星へ成長する途中の段階であること（十七字）

3 イ

（例）各種報道は「降格」などと報じているが、冥王星は惑星へ成長する途中の段階の天体群であり、むしろ貴重な化石としての重要性が増した。（六十三字）

（例）各種報道は「降格」などと報じているが、冥王星は惑星へ成長する途中の段階の天体群であり、むしろ貴重な化石としての重要性が増したのではないか。（六十九字）

- 二 1 A ウ B ア C エ （完全解答）

## ■考え方

1 冥王星が「準惑星」になつた経緯について時系列に整理しながら読みます。ここでは、冥王星より大きな外縁天体の発見が公表されたことがきつかけとなり、惑星の定義の決定についての動きが始まったことが読み取れます。

2 「惑星」と「準惑星」の共通点と相違点を整理しながら読みます。

3 「惑星」を「鶏」、「準惑星」を「ひよ」、「小天体を「卵」と例えている」とから、惑星の成長過程を鶏の成長に例えて表現していることを読み取ります。

4 本文中から各種報道での報じられ方と筆者の考え方を比較しながら、その違いを捉え、筆者の考え方を条件にしておきます。

二 1 「メモ」には、詩から感じた」とや考えた」とについてグループで交流したこと

が書かれています。また、「しか」という言葉から強いメッセージを感じていることに注目します。

2 田中さんが、まと・みちおさんの詩の魅力を「議さ」と考え、それを読み手に伝わるように説明するために、作者の背景を書くなどしていけるように書きなさい。

- 「心を打たれる」の意味として最も適切なものをアからエまでの中から一つ選びなさい。また、「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。その際、「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)」の「どのようなど」と「心を打たれた」のかが分かるように書きなさい。

## 取り組んでみよう！

意味

- ア 遠慮する。  
ウ 一つのこととに集中する。  
エ 感動する。  
イ あれこれと心配する。

一文

答え

「...」

意味

### 令和元年度はつかいどうチャレンジテスト

2学期末問題(第4回)

〔数学〕中3 組番 氏名

\*先生方へ～解答欄の■～■は、問題結果登録の役割を果たしています。

提出用

- 1 ①、②は、二次方程式をそれぞれ違う考え方で解いたものです。それぞれの解き方の説明として適切なものをアからウまでのうちから1つずつ選び、記号で答えなさい。

$$\text{① } x^2 - 5x - 24 = 0 \quad \text{② } x^2 - 8x + 4 = 0$$

$$(x+3)(x-8) = 0$$

$$x = -3, 8$$

$$\text{① } x^2 - 8x + 16 = 12$$

$$(x-4)^2 = 12$$

$$x-4 = \pm \sqrt{12}$$

$$x = 4 \pm 2\sqrt{3}$$

A 因数分解して一次式の積が0であることを使って解いた。

イ 平方の形に変形して解いた。

ウ 解の公式を用いて解いた。

■ ①

■ ②

2

立方体の一辺を $x$  cmとするとき、次のアからウまでのうちから $y$ が $x$ の2乗に比例するものを選び、記号で答えなさい。

ア  $y$ が $x$ の2乗に比例すると判断した理由を答えなさい。

イ 全ての辺の長さの和を $y$  cmとする。  
ウ 表面積を $y$  cm<sup>2</sup>とする。

ア 全ての辺の長さの和を $y$  cmとする。  
ウ 表面積を $y$  cm<sup>2</sup>とする。

■ 3 記号

■ 4 理由

■ 5

■ a = , b =

■ (2) △ABO の面積を求めなさい。

3

$y$ は $x$ の2乗に比例し、 $x=2$ のとき $y=12$ です。  
次の問いに答えなさい。

(1)  $y$ を $x$ の式で表しなさい。

(2)  $x$ の値が-2から4まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

■ 6

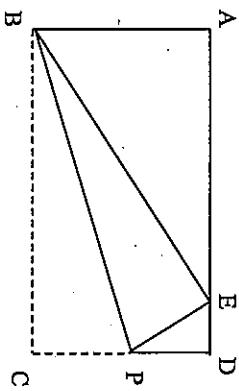
■ 7

※次のページにも、問題があります。

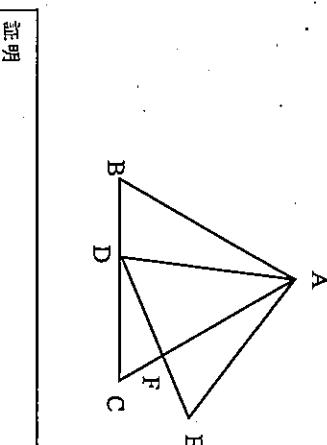
**6** 連続する3つの正の整数があり、小さい方の2つの数の積が3つの数の和に等くなります。これら3つの数を求めるととき、真ん中の数を  $x$  として、方程式をつくりなさい。

**8** 図のように、正三角形ABCの辺BC上に点Dをとり、ADを一辺とする正三角形ADEをつくる。ACとDEの交点を点Fとするとき、 $\triangle ABD \sim \triangle AEF$ であることを証明しなさい。

**7** 次の図のように、長方形ABCDの頂点Cを辺ADと重なるように折り返し、辺ADと折り目との交点を点E、折り目の線分と辺CDとの交点を点Pとする。このとき、 $\triangle ABE \sim \triangle DEP$  の証明として正しいものを次のアから工までの中から1つ選び、記号で答えなさい。



<p>△ABEと△DEPにおいて 仮定より <math>\angle BAE = \angle EDP = 90^\circ</math> …①  <math>\angle ABE + \angle AEB = 90^\circ</math> …②  <math>\angle DEP + \angle AEB = 90^\circ</math> …③</p> <p>②③より <math>\angle ABE = \angle DEP</math> …④</p> <p>①④より 2組の角がそれぞれ等しいので、  <math>\triangle ABE \sim \triangle DEP</math></p>	<p>△ABEと△DEPにおいて 仮定より <math>\angle BAE = \angle EDP = 90^\circ</math> …①  <math>\angle AEB = \angle AEP - \angle BEP</math> …②  <math>\angle DEP = \angle DEB - \angle BEP</math> …③</p> <p>②③より <math>\angle AEB = \angle DEP</math> …④</p> <p>①④より 2組の角がそれぞれ等しいので、  <math>\triangle ABE \sim \triangle DEP</math></p>
<p>△ABEと△DEPにおいて 仮定より <math>\angle BAE = \angle EDP = 90^\circ</math> …①  <math>BC = BE</math> …②  <math>CP = EP</math> …③</p> <p>△BCP <math>\cong</math> △BEP …④</p> <p>②③④より、<math>AB : DE = AE : DP</math> …⑤</p> <p>①⑤より、2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しいので、  <math>\triangle ABE \sim \triangle DEP</math></p>	<p>△ABEと△DEPにおいて 仮定より <math>\angle ABE + \angle AEB = 90^\circ</math> …①  <math>\angle DEP + \angle DPE = 90^\circ</math> …②</p> <p>①②より <math>\angle ABE = \angle DEP</math> …③</p> <p><math>\angle AEB = \angle DPE</math> …④</p> <p>③④より、2組の角がそれぞれ等しいので、  <math>\triangle ABE \sim \triangle DEP</math></p>



\*次のページにも、問題があります。



